

☆帝国主義国、後進国、「労働者国家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟

2月3日
旬刊
第255号
発行所 戦旗社
一部 40円
購読料2000円(年費)

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三崎町2-7-6 滝沢ビル内電話代装
08(4)2962 横濱 東京 各支店

4日 沖縄全軍労スト支援闘争 6時 日比谷野音
11日 紀元節復活叛軍闘争

地区共闘の創出をめざし

反帝統一戦線の革命的再編を

全国の革命的労働者・学生・高校生諸君！70年代アジア侵略反革命への九日非武装闘争の階級闘争とそれに反するわれわれを先頭としたプロレタリアート人民との非武装闘争は、今や、72年沖繩追加選挙権争の一点へと集約されつつ、沖縄選挙権争3-4月闘争をめざして激戦に展開されんとしている。

67年10、8以後開始された「新たな革命闘争」の激戦の北を、唯一正しく総括し、既成左翼の崩壊と自衛隊「新左翼」の崩壊とを同時に大きく前進するわが闘争は、来るべく沖縄選挙権争3月闘争の闘争を唯一革命的に展開し、一切のプロレタリアート人民と、連帯する闘争を領することにおいて、今日の危機に立つ日本階級闘争を、或る程度の実績へ向けたい反帝統一戦線の革命的再編を突破口として、革命的に打破して行くであろうことを約束する。



小西裁判を前にしての決起集会赤ヘル指導

全軍労スト支援闘争を闘い抜け
「全軍労スト支援闘争」は、革命的な闘争の突破口として、革命的に打破して行くであろうことを約束する。

24沖繩闘争
211紀元節闘争
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

「第一回全国叛軍連絡会議」の成果を踏まえ

叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

第一回全国叛軍連絡会議の成果を踏まえ、叛軍、反軍産闘争の更なる推進へ

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

地区叛軍闘争の大衆的展開を
地区叛軍闘争の大衆的展開を

C 複原の史的唯物論の反マルクスの改作

(一) 史的唯物論の原理について

「史的唯物論」の原理は、マルクスとエンゲルスが「共産主義宣言」で初めて明らかにした。その原理は、社会の発展は生産力と生産関係の矛盾から生ずるものであると説き、国家は階級社会の産物であると論じた。この原理は、後の社会主義運動の基礎となった。

しかし、この原理は、マルクスとエンゲルスが「共産主義宣言」で初めて明らかにした。その原理は、社会の発展は生産力と生産関係の矛盾から生ずるものであると説き、国家は階級社会の産物であると論じた。この原理は、後の社会主義運動の基礎となった。

この原理は、マルクスとエンゲルスが「共産主義宣言」で初めて明らかにした。その原理は、社会の発展は生産力と生産関係の矛盾から生ずるものであると説き、国家は階級社会の産物であると論じた。この原理は、後の社会主義運動の基礎となった。

(二) 経済学のスターリン主義への屈服

スターリン主義は、経済学において、社会主義の発展は生産力と生産関係の矛盾から生ずるものであると説き、国家は階級社会の産物であると論じた。この原理は、後の社会主義運動の基礎となった。

この原理は、マルクスとエンゲルスが「共産主義宣言」で初めて明らかにした。その原理は、社会の発展は生産力と生産関係の矛盾から生ずるものであると説き、国家は階級社会の産物であると論じた。この原理は、後の社会主義運動の基礎となった。

この原理は、マルクスとエンゲルスが「共産主義宣言」で初めて明らかにした。その原理は、社会の発展は生産力と生産関係の矛盾から生ずるものであると説き、国家は階級社会の産物であると論じた。この原理は、後の社会主義運動の基礎となった。

法判 地裁当局一検察側動搖

特別弁護人選任申請迫及に

特別弁護人の選任申請が、検察側の動搖を招き、法廷に大きな影響を与えている。この申請は、被告の権利を保護するために必要であると主張されている。

この申請は、特別弁護人の選任申請が、検察側の動搖を招き、法廷に大きな影響を与えている。この申請は、被告の権利を保護するために必要であると主張されている。

この申請は、特別弁護人の選任申請が、検察側の動搖を招き、法廷に大きな影響を与えている。この申請は、被告の権利を保護するために必要であると主張されている。

東大統一公判控訴審始まる

赤ヘル9・19グループ

東大統一公判控訴審が始まり、赤ヘル9・19グループのメンバーが控訴している。この控訴は、判決の正当性を疑問視している。

この控訴は、赤ヘル9・19グループのメンバーが控訴している。この控訴は、判決の正当性を疑問視している。

この控訴は、赤ヘル9・19グループのメンバーが控訴している。この控訴は、判決の正当性を疑問視している。

結 論

この論議は、社会主義の発展と国家の役割について重要な示唆を与えている。特に、経済学と政治学との関係が注目されている。

この論議は、社会主義の発展と国家の役割について重要な示唆を与えている。特に、経済学と政治学との関係が注目されている。

この論議は、社会主義の発展と国家の役割について重要な示唆を与えている。特に、経済学と政治学との関係が注目されている。

理論戦線

10号

絶賛発売中！
A5版320頁 450円(70円)
東京都千代田区三崎町2-7-6
戦旗社(振替26110)

10.11月判 革命的闘士への
公報復裁判を粉碎す

復刻版
共産主義
980円

- 第一報告 □ 共産主義論
 - I 軍事を孕み共産主義を組織する鉄の革命党建設にむけて 日向翔
 - II 共産主義論争の止場のために 向田新
 - III 叛旗派の政治的解体にむけて 和光明
 - (補) 第一次共産同への自己の関りの総括と第三次共産同への道 鶴井衆
- 第二報 □ 戦略論
 - 補「過渡期世界の革命党」への理論的諸前提 野田晋
 - I 現代帝国主義論への基礎 視座 藤田雪絵
 - II 現代ソ連論序説 青木達
 - III 恒武闘争論の深化と叛軍闘争 一色学
 - IV 日帝の軍事外交に對決する叛軍・入管闘争の任務 中村進
- 第三報告 □ 運動・組織論
 - I 七〇年代型地区共闘論の深化のために 城山徹
 - II 叛軍行動委建設にむけて 北見隆
 - III 第二次共産同の組織総括の深化のために 伊勢洋
 - IV 社会主義学生戦線IIフロント批判 赤井文人
- 第四報告
 - ▲ 日本反帝戦線結成大会議案書

